

■ ガバナーメッセージ

幼い子どもたちの幸せを願い、ロータリークラブが出来ること

◎ 国際ロータリー第2590地区 ガバナー 金子 大

風薫るさわやかな季節となりました。私のホームクラブの例会場であるホテルの前の銀杏並木もすっかり若葉が繁り、いきいきとした雰囲気が満ちあふれています。丁度お昼時、保育園児と思われるかわいい一団がお弁当を食べに行くのでしょうか、保育士さんに引率されて公園に入っていく様子はこのどかで、本当に平和そのものです。この子どもたちがこれからはずっと平穩無事に成長して、たくましい大人になっていくことを心から願っております。しかしこのような願いに反して、いじめや虐待など、近年の子どもたちを取り巻く環境には厳しいものがあるのも事実です。

§

ロータリーとしてはこのような事態を少しでも軽減し、子どもたちが何の不安もなく毎日を過ごすことが出来るような社会の実現を目指し、各クラブが努力すべきだと思います。子どもの貧困問題も表面化してきました。敗戦直後の国民総貧困時代から立ち上がり、世界でもトップクラスの経済大国になったと自負していた日本の子どもたちに深刻な貧困問題が起きているとは。正直なところ思いもよりませんでした。しかも日本の子どもの相対的貧困率が16.3%となったと、少し古いデータですが2012年の厚生労働省の「国民生活基礎調査」で報告されています。

思う存分食事が摂れていない子どもたち、いろいろな事情から放課後の居場所が見つからず家庭学習が困難な子どもなど、多くの援助を必要としている子どもが存在していることを見過ごしてはなりません。

当地区のロータリークラブの中にもこの状況に関心を持ち、手を差しのべているクラブが徐々に増えてはいますが、まだまだ足りません。より多くのクラブが、どんな形でもよいので子どもの貧困に関心を向け、関わりを持ってほしいと思います。そしてそれをきっかけに更に感心が深まるならば、「子ども食堂」「学習支援活動」への積極的な支援等、クラブとして広く関わっていく可能性を検討してほしいと思います。



§

今月は「青少年奉仕月間」です。RI提唱プログラムとしては、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラムの4プログラムで、その対象は文字通り青少年です。しかし、私はここで敢えて青少年奉仕プログラム対象年齢よりもう一段年齢の下の乳幼児および児童に、焦点を当てさせていただきました。

§

私のガバナーとしての任期はあと2ヶ月、もうひと頑張りです。後には轟ガバナーエレクトが、準備万端船出を待っておられます。私が皆様から賜りましたお力添えを、轟年度にも宜しくいただきたく存じます。